

気象災害から身を守るために

2023年6月18日（日）10時00分～12時00分
三木町防災講演会 文化交流プラザ

高松地方気象台 築山 秀治

本日の内容

1.香川県の気象特性

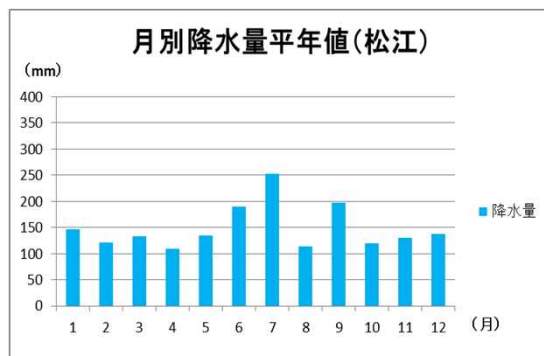
2.繰り返される豪雨災害

3.警戒レベルと気象庁の発表する防 災気象情報（大雨時）

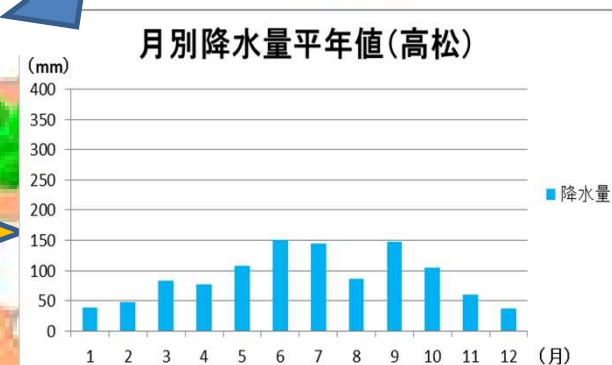
4.気象災害から身を守るために

香川県の気象概要

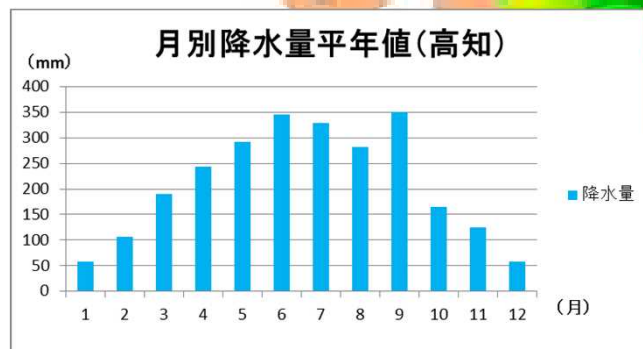
冬：北寄りの季節風



年間降水量平年値：1791.9 mm



年間降水量平年値：1150.1 mm



年間降水量平年値：2666.4 mm

夏：南寄りの季節風

香川県は、年間を通して降水量が少ない

香川県における平成の主な災害

年月日	気象要因	被害状況
1990(H2)年 9月11－20日	台風第19号 秋雨前線	死者2名、床上浸水158戸、床下浸水2253戸 土砂災害、強風害
1998(H10)年 9月22日	台風第7号	床上浸水257戸、床下浸水1298戸 強風害
2004(H16)年 8月17－19日	台風第15号	死者5名、床上浸水16戸、床下浸水391戸 土砂災害
2004(H16)年 8月30－31日	台風第16号	死者3名、床上浸水5946戸、床下浸水15643戸 高潮害
2004(H16)年 9月29日	台風第21号	床上浸水76戸、床下浸水235戸 土砂災害
2004(H16)年 10月20日	台風第23号	死者23名、床上浸水4119戸、床下浸水12390戸 洪水害、土砂災害
2011(H23)年 9月2－3日	台風第12号	死者3名、床上浸水12戸、床下浸水274戸 土砂災害

本日の内容

1.香川県の気象特性

2.繰り返される豪雨災害

3.警戒レベルと気象庁の発表する防
災気象情報 (大雨時)

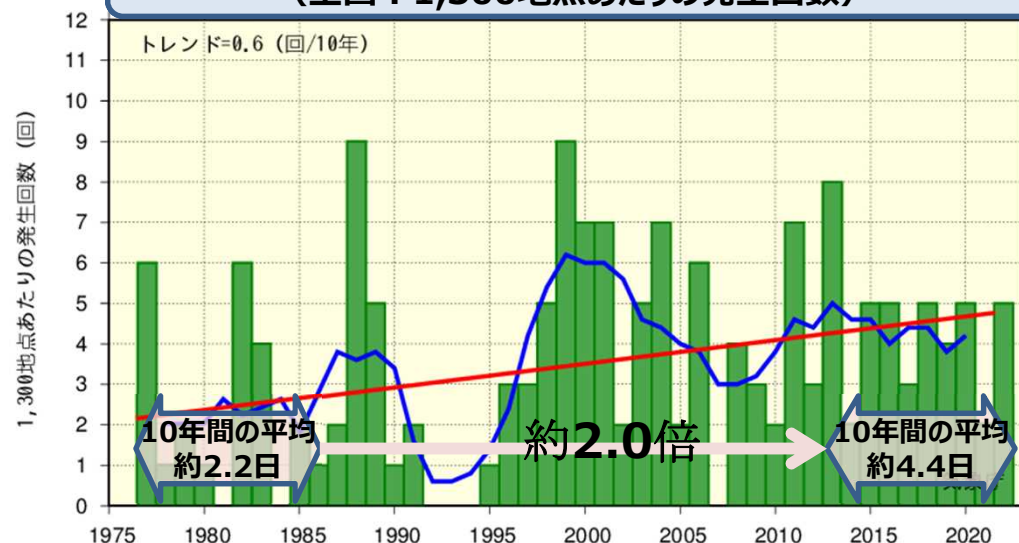
4.気象災害から身を守るために

豪雨や集中豪雨は、甚大な災害を引き起こし、毎年多くの人の命を奪っている。



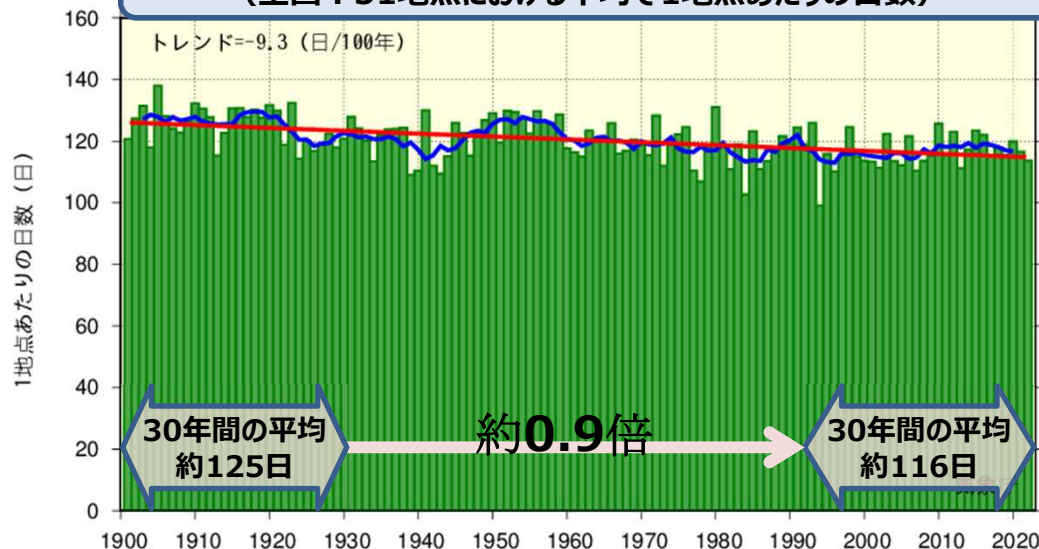
近年の雨の降り方

1時間降水量100mm以上の年間発生回数 (1976~2022)
(全国：1,300地点あたりの発生回数)



- より強度の強い雨ほど増加率が大きくなっている。
- 一方で、日降水量が1.0mm以上の雨が降る年間日数は減少傾向にある。

日降水量1.0mm以上の年間日数 (1901~2022)
(全国：51地点における平均で1地点あたりの日数)



雨の降り方は以前に比べて、
大雨で激しく降る傾向！

香川県でも 豪雨災害が



いつ起きても おかしくない。

本日の内容

1.香川県の気象特性

2.繰り返される豪雨災害

**3.警戒レベルと気象庁の発表する防
災気象情報（大雨時）**

4.気象災害から身を守るために

避難に対する基本姿勢

目指す社会

平成30年度

住民：「**自らの命は自らが守る**」

- 平時より災害リスクや避難行動等について把握する。
- 地域の防災リーダーのもと、避難計画の作成や避難訓練等を行い地域の防災力を高める。
- 災害時には自らの判断で適切に避難行動をとる。

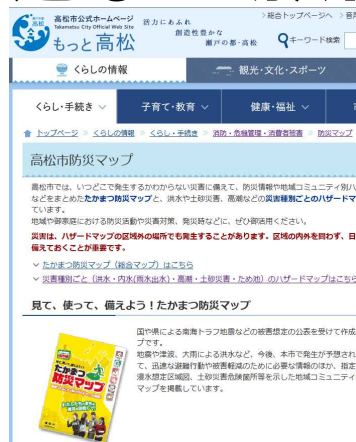
行政：「**適切な避難行動**」をとれるよう住民を全力で支援する。

- あらゆる世代を対象に、継続的な防災教育や避難訓練などを実施し、「自らの命は自らが守る」意識の徹底や災害リスクと取る行動等を周知する。
 - 災害時には、避難行動が容易にとれるよう、**防災情報をわかりやすく提供する。**
- 

避難とは難を逃れること

「危ないとき」に「危ない場所」から避難して命を守りましょう

危ない場所 ★ハザードマップ



高松市HPより

危ないとき ★避難情報等

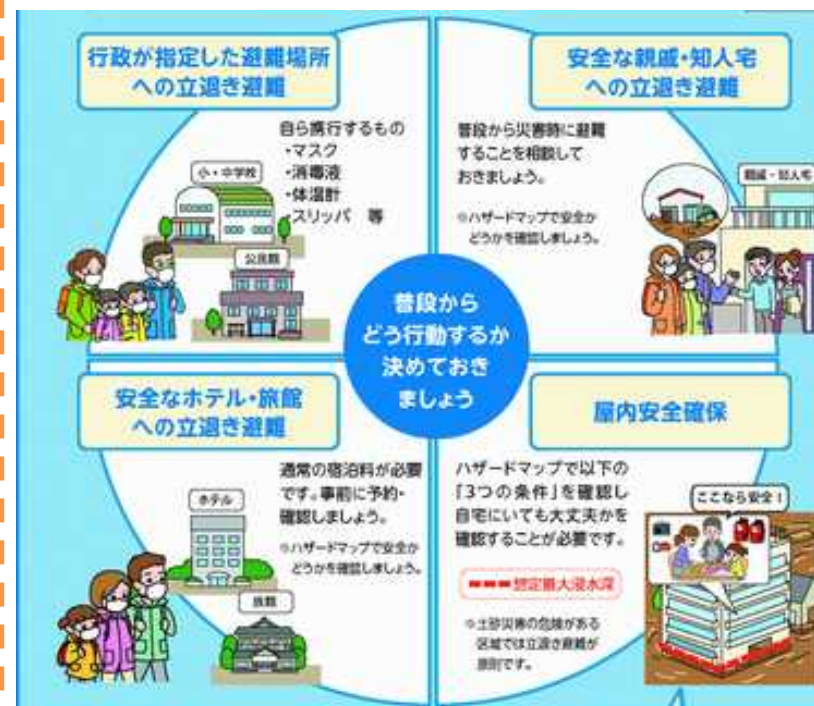
警戒レベル		新たな避難情報等	
5		災害発生 又は切迫	せんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保※1
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4		災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示※2</b>
3		災害の おそれあり	こうれいしゃどうひなん <b>高齢者等避難※3</b>
2		気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1		今後悪化状況 おそれ	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、令和3年の防災法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

## 避難の仕方



# 警戒レベル

警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
~~~~~ <警戒レベル4 までに必ず避難！> ~~~~~			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示（注）
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 （気象庁）
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 （気象庁）

※ 1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない。

※ 2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危機を感じたら自主的に避難するタイミングである。

（注）避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する。

警戒レベルと防災気象情報（相当情報）

警戒 レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報	ギギクル （危険度分布）	相当する 警戒 レベル
5	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨 特別警報	災害切迫 氾濫 発生情報	5 相当
<警戒レベル4までに必ず避難！>					
4	・危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示 第4次防災体制 （災害対策本部設置）	土砂災害 警戒情報 高潮 警報 高潮 特別警報	危険 氾濫 危険情報	4 相当
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難 第3次防災体制 （避難指示の発令を判断できる体制）	※ 大雨警報 洪水警報 高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報	警戒 氾濫 警戒情報	3 相当
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 （高齢者等避難の発令を判断できる体制） 第1次防災体制 （連絡要員を配置）	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報 大雨注意報 洪水注意報 高潮 注意報	注意 氾濫 注意情報	2 相当
1	災害への心構えを高める	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	早期 注意情報 （警報級の可能性） 早期 注意情報 （警報級の可能性）		

- - - 警戒レベル
 - - - 警戒レベル相当情報

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。

早期注意情報（警報級の可能性）警戒レベル 1



愛媛県の早期注意情報（警報級の可能性）

2021年05月19日11時 松山地方気象台 発表

中予では、20日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。
東予では、20日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。
南予では、20日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。

愛媛県中予		19日		20日			21日	22日	23日	24日
		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雨	警報級の可能性	-	-	[中]			[高]	-	-	-
	1時間最大	15以下	15以下	15以下	25	25				
	3時間最大	25以下	25以下	25以下	40	35				
	24時間最大	50から100								
大雪	警報級の可能性	-	-	-			-	-	-	-
	6時間最大	0	0	0	0	0				
	24時間最大	0								
暴風(雪)	警報級の可能性	-	-	-			-	-	-	-
	最大風速	陸上	9以下	9以下	9以下	9以下	12			
		海上	9以下	9以下	10	10	15			
波浪	警報級の可能性	-	-	-			-	-	-	-
	波高	0.5	0.5	1	1	1.5				
高潮	警報級の可能性	-	-	-			-	-	-	-

雨、雪、風、波、高潮について、5日先までの「警報級の可能性」を発表します。

【明日まで】05時・11時・17時に発表（修正発表する場合もある）

【明後日から5日先】11時・17時に発表

「高」:警報発表中、又は警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況。

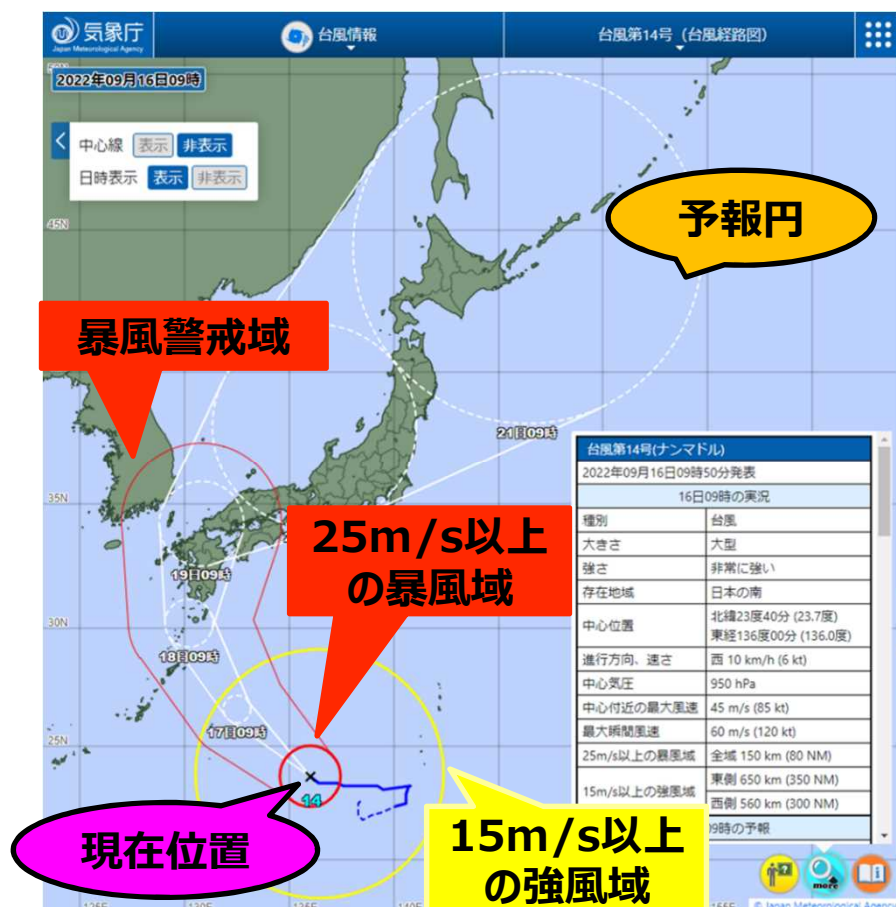
「中」:「高」より可能性が高くないが、警報を発表するような現象発生可能性がある状況

災害への心構えを

台風に関する情報

内容	発表時間	予報時間	発表要素
実況	0時、3時、6時、9時、12時、15時、 18時、21時の約50分後※ ³ 毎正時の約50分後※ ^{1,3}		中心位置、進行方向・速度、中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風域、強風域
1時間後推定※ ¹	毎正時の約50分後※ ¹		
1日（24時間）予報	0時、3時、6時、9時、12時、15時、 18時、21時の約50分後※ ³	12時間先※ ² 、24時間先 24時間先まで3時間毎※ ¹	予報円の中心・半径、進行方向・速度、中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風警戒域
5日（120時間）予報	3時、9時、15時、21時の約50分後※ ³	5日先まで24時間毎	

※¹ 台風が日本に接近し、影響のおそれがある場合に発表
 ※² 台風の動きが遅い場合は省略
 ※³ 発達する熱帯低気圧や台風が複数存在するときは約70～90分後になることがある



予 報 円	70%の確率で台風の中心が位置すると予想される範囲
暴 風 域	平均風速25m/s以上の風が吹くか、吹く可能性がある範囲
強 風 域	平均風速15m/s以上の風が吹くか、吹く可能性がある範囲
暴 風 警 戒 域	台風の中心が予報円内に進んだときに暴風域に入るおそれがある範囲

大きさ	風速15m/s以上の半径
表現なし	500km未満
大型	500km以上 800km未満
超大型	800km以上

強さ	中心付近の最大風速
表現なし	33m/s (65ノット) 未満
強い	33m/s (65ノット) 以上 44m/s (85ノット) 未満
非常に強い	44m/s (85ノット) 以上 54m/s (105ノット) 未満
猛烈な	54m/s (105ノット) 以上



注意報：警戒レベル2・警報：警戒レベル3相当



※注 大雨、洪水、高潮注意報が警戒レベル2、大雨（土砂災害）、洪水警報は警戒レベル3相当情報、高潮警報は警戒レベル4相当情報と分類されています。
詳しくは4p前の「警戒レベルと防災気象情報（相当情報）」のページをご確認ください。

注意報 (16種類)	災害が発生するおそれがあるときに発表 大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪
警報 (7種類)	重大な災害が発生するおそれがあるときに発表 大雨（土砂災害、浸水害）、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮

雨が強くなると…
半日～数時間前

注意報

大雨になると…
1時間～2時間前

警報

災害に備えた早めの準備

ハザードマップや避難先をあらためて確認



**避難に時間のかかる方は
避難開始**



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。

注意報・警報はリードタイム（情報の伝達や防災行動起こすための時間）を考慮し、現象が始まる前に発表することに努めている。

警報・注意報（危険度を色分けした時系列）



「**注意報級の現象が予想される期間**」や「**警報級の現象が予想される期間**」などを、危険度に応じて色分けした時系列（3時間毎）の表形式により視覚的に分かりやすい形で提供

〇〇市の警報・注意報（今後の推移）

2020年〇月30日11時△分発表

〇〇市		30日					31日				備考・ 関連する現象
		9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	
大雨（浸水）		40	70	70	40						浸水警戒
大雨（土砂災害）											土砂災害警戒
洪水											氾濫
暴風	陸上	20	35	35	18	15	12	12			
	海上	25	40	40	23	20	15	15			
波浪		3	4	4	2.5	2.5	1.5	1.5			
高潮		0.8	2.8	2.8	2.2	1.5					ピークは30日15時頃
雷											竜巻

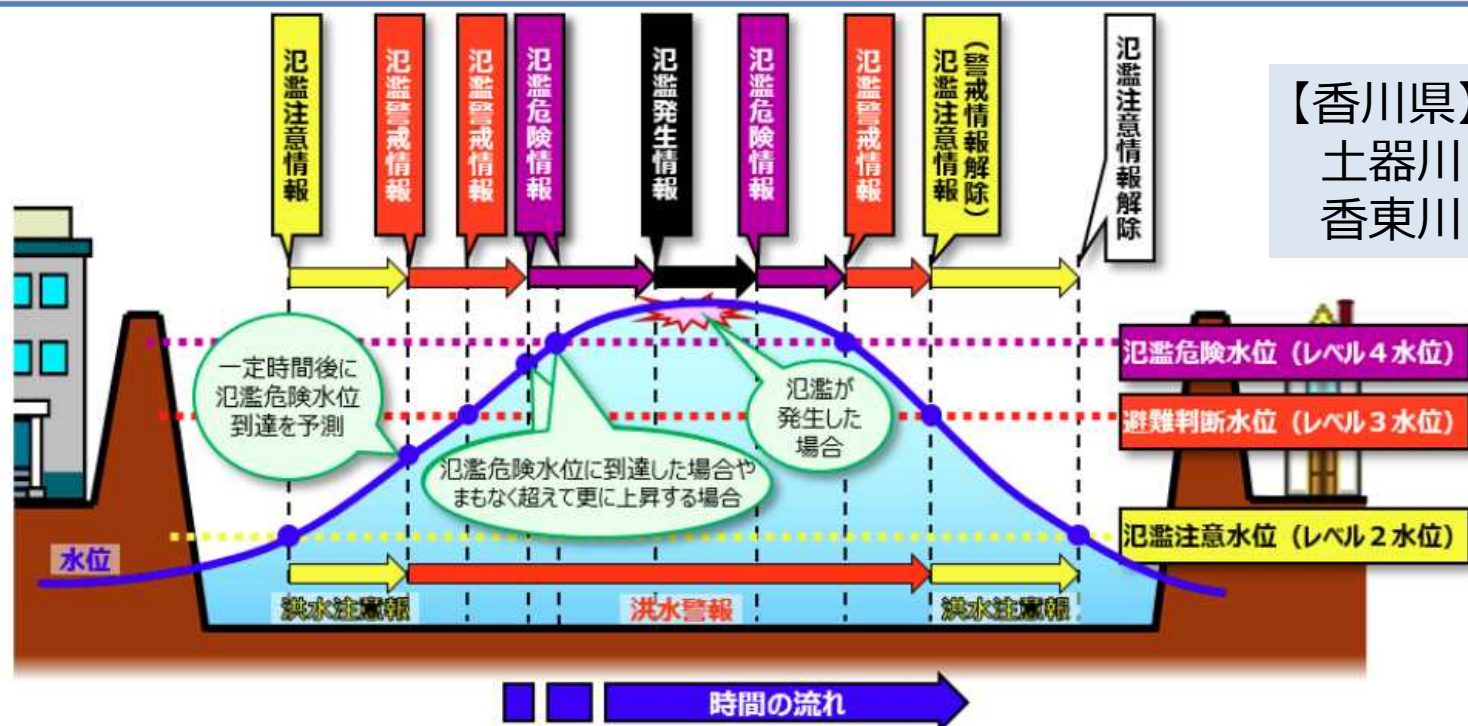
■ 大雨特別警報
 ■ 特別警報（大雨以外）・高潮警報・土砂災害警戒情報
 ■ 警報（高潮以外）・高潮注意報（*1）
 ■ 注意報（高潮以外）・高潮注意報（*2）
 ■ 予想期間外

*1 高潮警報に切り替える可能性が高い
 *2 上記以外の高潮注意報

指定河川洪水予報：警戒レベル2～5相当

洪水予報の標頭（種類）	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
〇〇川氾濫発生情報 （洪水警報）	氾濫の発生 （氾濫水の予報）	氾濫水への警戒を求める段階 【警戒レベル5相当】
〇〇川氾濫危険情報 （洪水警報）	急激な水位上昇によりまもなく氾濫危険水位を超え、さらに水位の上昇が見込まれる場合、あるいは氾濫危険水位に到達した場合	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階 【警戒レベル4相当】
〇〇川氾濫警戒情報 （洪水警報）	一定時間後に氾濫危険水位に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階 【警戒レベル3相当】
〇〇川氾濫注意情報 （洪水注意報）	氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	氾濫の発生に対する注意を求める段階 【警戒レベル2相当】

河川の増水や氾濫などに対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるように、あらかじめ指定した河川について、国土交通省や香川県と気象台が共同して発表



土砂災害警戒情報：警戒レベル4相当



土砂災害発生の危険度が高まったとき、都道府県と気象庁が共同で発表。

■警戒対象地域
警戒が必要な市町村を記載
*印は新たに警戒対象となった市町村

■補足する図
警戒対象地域、警戒解除地域、地震影響域を示します。



←警戒対象地域
(警戒が必要な市町村はオレンジ色で表示)



←警戒解除地域



←地震影響域は、左図のようなマークで表示されます。

香川県土砂災害警戒情報 第〇号

平成〇〇年〇月〇日 〇時〇分
香川県 高松地方気象台 共同発表

【警戒対象地域】

さぬき市* 東かがわ市* 三木町*

*印は、新たに警戒対象となった市町村を示します。

【警戒文】

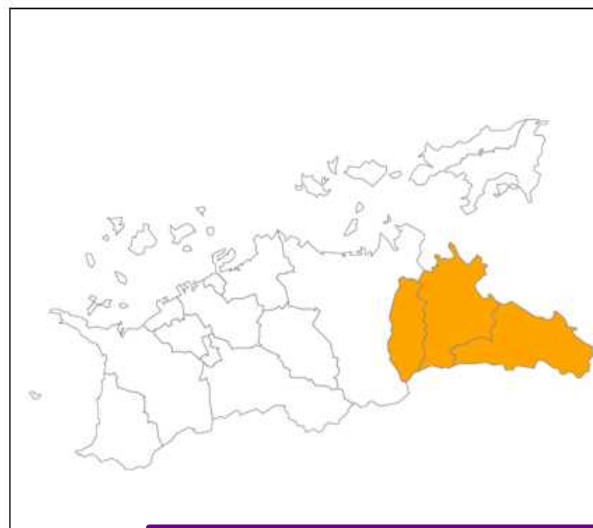
《概況》

降り続く大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。

《とるべき措置》

避難が必要となる危険な状況となっています【警戒レベル4相当情報[土砂災害]】。

渓流や崖の近くなど土砂災害の発生しやすい地区にお住まいの方は、早めの避難を心がけるとともに、市町村から発表される避難指示などの情報に注意してください。



警戒対象地域

安全な場所に速やかに避難



※土砂災害は立退き避難が原則



指定緊急避難場所等

※土砂災害は立ち退き避難が原則

大雨による災害

雨の降り方や降る場所によって、もたらされる災害が異なります。

大雨

自分の地域で起こり得る災害を、事前に把握しておくことが大切です。

土砂災害



崖崩れ

山の斜面や自然の急傾斜の崖、人工的な造成による斜面が突然崩れ落ちる。

土石流

山腹や川底の石や土砂が集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される。

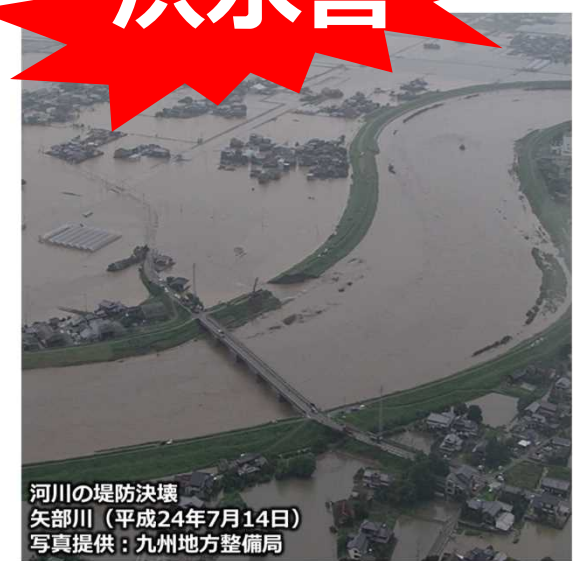
浸水害



内水氾濫

大雨等による地表水の増加に排水が追いつかず、用水路、下水溝などがあふれて氾濫したり、河川の増水や高潮によって排水が阻まれたりして、住宅や田畑が水につかる。

洪水害



河川の堤防決壊
矢部川（平成24年7月14日）
写真提供：九州地方整備局

外水氾濫

大雨や融雪などを原因として、河川の流量が異常に増加することによって、堤防の決壊や河川の水が堤防を越えたりすることにより起こる氾濫。

雨量の予報から災害危険度の予報へ

大雨

大雨の降っている場所は 気象レーダーで把握可能

★気象庁HP（スマホでも閲覧可）で
確認ができる。

【雨雲の動き】

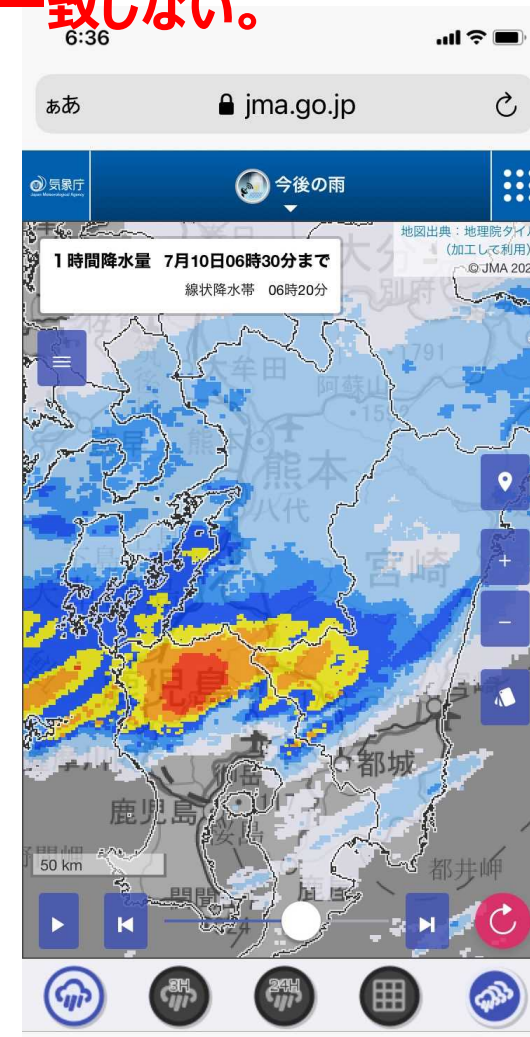
レーダー観測に基づく5分ごとの降水強度
分布（実況）と5分ごとの60分先までの降
水強度分布の予測を表示。

【今後の雨】

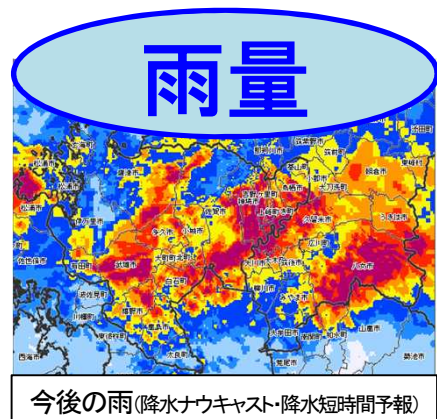
レーダーとアメダスなどの降水量観測値から
作成した降水量分布（解析雨量）と
15時間先までの1時間ごとの降水量分布
予報を表示。

6時間先までは10分ごと、7時間から15時
間先までの降水量予測は1時間ごとに更新。

しかし、災害の発生する
場所・時間とは、必ずしも
一致しない。



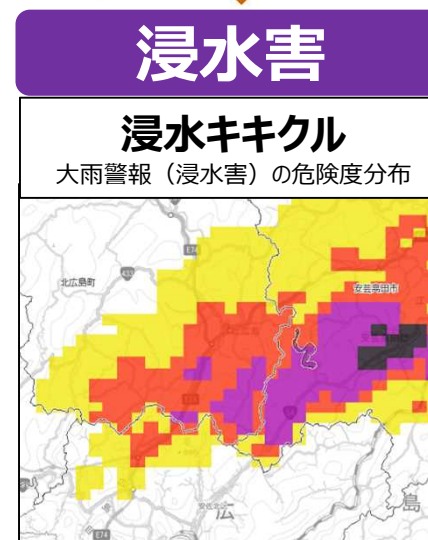
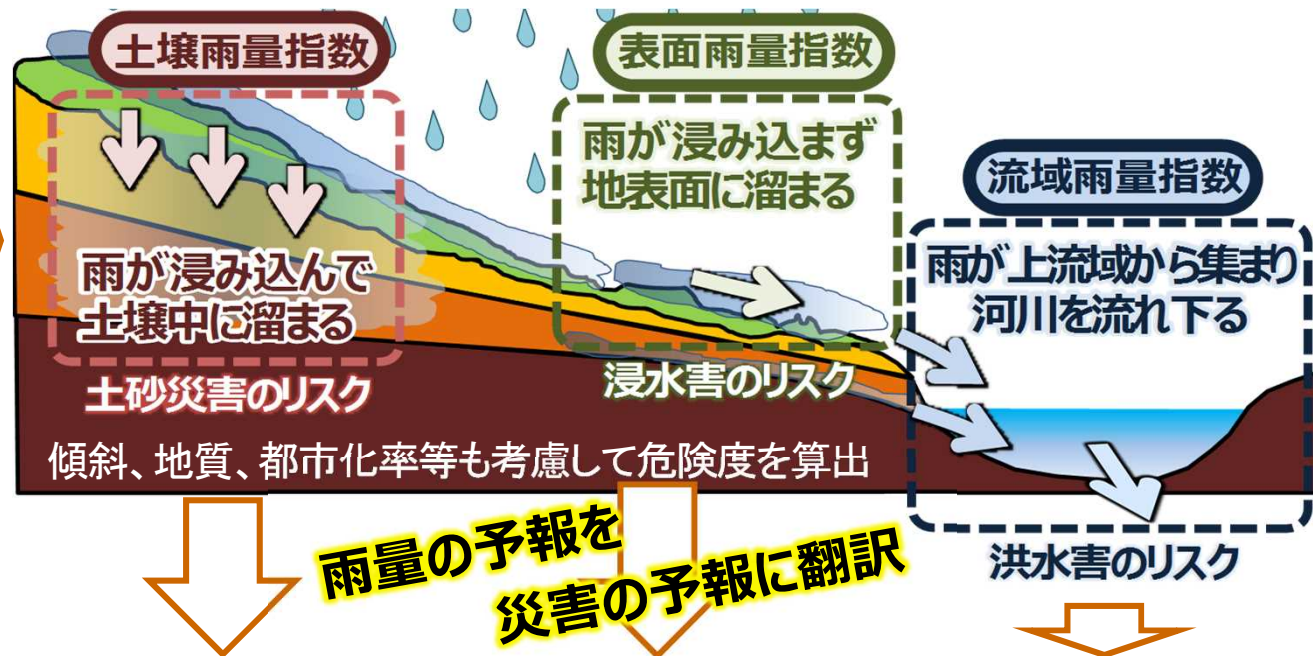
(参考) 雨量の予報から災害危険度の予報へ



大雨の降っている場所は
気象レーダーで把握可能
(しかし、災害の発生する場所・時間とは、
必ずしも一致しない。)

災害危険度の高まりを
視覚的に確認できるよう
キキクル(危険度分布)
を提供

高
危険度
低



キキクル (スマホでの見方)



読み込むと 雨雲の動き、浸水キキクル、土砂キキクル、洪水キキクルが出てくるので、見たいキキクルの右下にある「詳しく見る」をクリックしてください。

キキクル (危険度分布)

土砂キキクル 3月24日06時00分

ひょうじ じこく 表示時刻

ひょうじ いろ せつめい 表示される色の説明

土砂災害の危険度

高	災害切迫	【警戒レベル5相当】
危険度	危険	【警戒レベル4相当】
警戒	警戒	【警戒レベル3相当】
注意	注意	【警戒レベル2相当】
低	今後の情報等に留意	

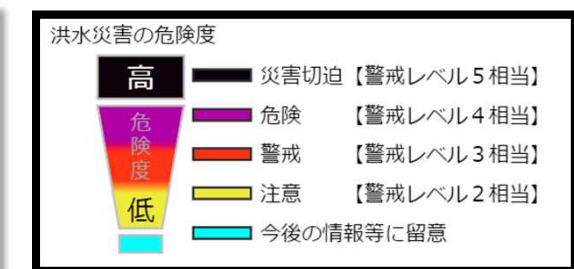
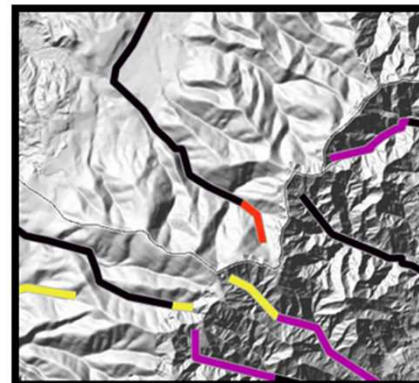
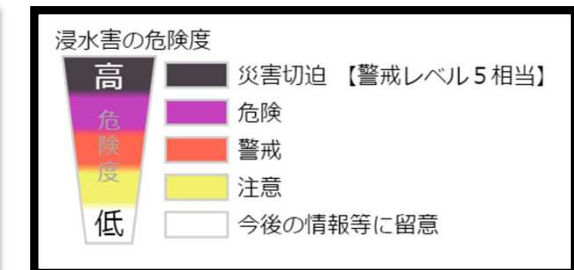
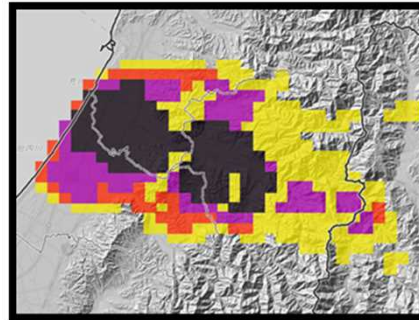
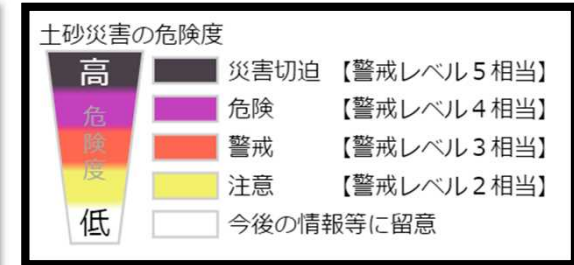
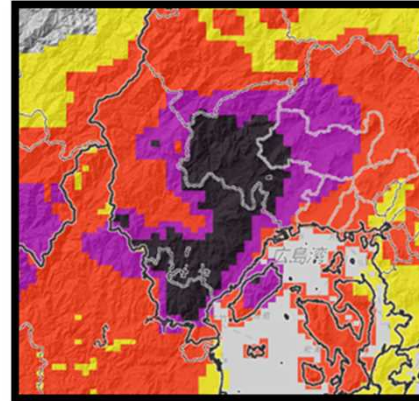
おお 大きく ちい 小さく

じかんちょうせい 時間調整

さいせい 再生

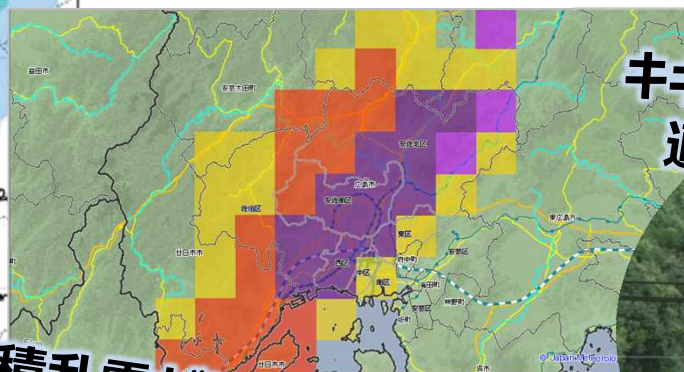
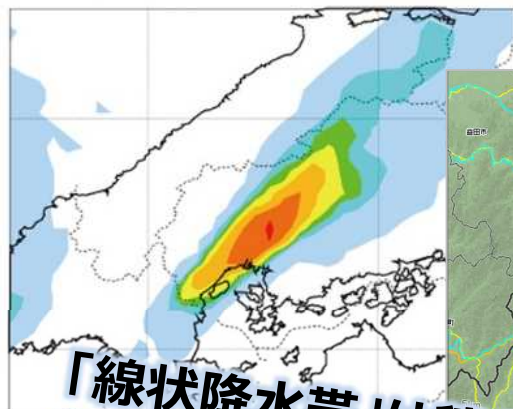
どしゃ 土砂キキクルの例

こうしん 更新



顕著な大雨に関する情報

「線状降水帯」による大雨の危機感をお伝えします



「線状降水帯」は積乱雲がほぼ同じ場所で
数時間停滞することにより大雨となるもので
災害の危険度が急激に高まります

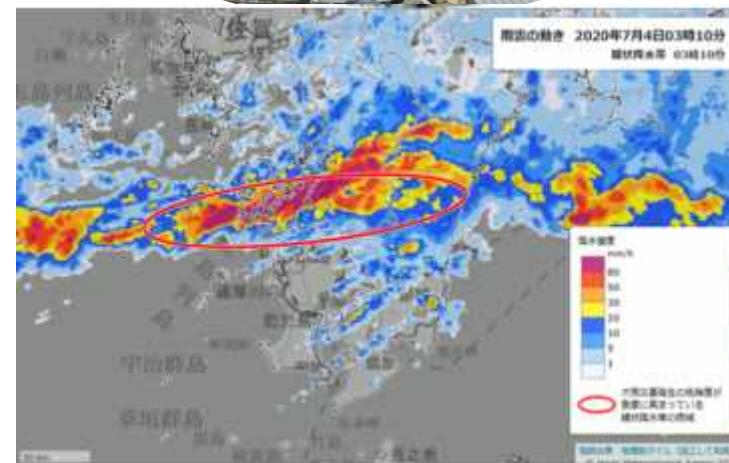
顕著な大雨に関する〇〇県気象情報 第1号
令和3年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇気象台発表
(見出し)

【発表対象区域】では、線状降水帯による非常に激しい雨
が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ土砂災害や
洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

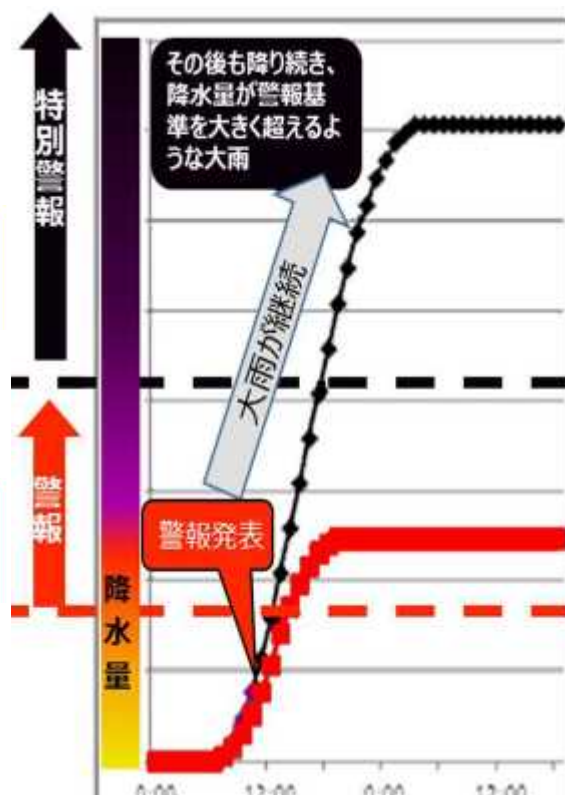
(本文)

なし

この情報が発表されたら
市町村の避難情報や
キキクル（危険度分布）等を確認し
適切な避難行動をとってください



特別警報 警戒レベル5相当



警報の発表基準をはるかに超える大雨で、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている時に発表し、最大級の警戒を呼びかける

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、暴風が吹くと予想される場合
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、高潮になると予想される場合
波浪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

特別警報が発表された後では避難できなくなるおそれがあります。
特別警報を待つことなく避難を！

非常事態

特別警報

ただちに命を守る行動を！

避難ができない状況になったら、少しでも安全な場所に

移動するなど、

命を守るために最善の行動を！



大雨特別警報の「位置づけ・役割」と取るべき行動

位置づけ・役割

<位置づけ>

大雨特別警報は、避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

<役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

とるべき行動

- 土砂災害警戒区域や浸水想定区域などでは、何らかの土砂災害や浸水害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当します。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保しなければならない状況です。

※指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所に移動するなど、身の安全を確保する必要があります。

- 大雨特別警報が発表されていない地域についても、特別警報が発表されてから避難するのでは手遅れとなりますので、特別警報の発表を待つことなく、地元市町村からすでに発令されている避難情報に直ちに従い、大事な人にも声をかけて一緒に身の安全を確保してください。
- 特に夜間においては、周囲の状況を十分に確認して行動してください。
- 今いる場所の災害発生の危険度を、気象庁HP等の「キキクル(危険度分布)」で確認してください。

本日の内容

- 1.香川県の気象特性
- 2.繰り返される豪雨災害
- 3.警戒レベルと気象庁の発表する防
災気象情報 (大雨時)
- 4.気象災害から身を守るために**

気象災害から身を守るために

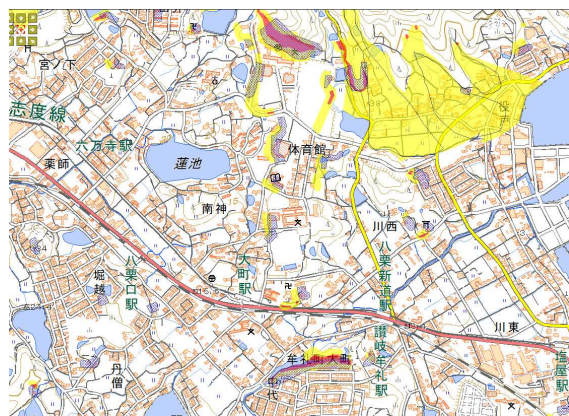
平常時

地域の危険
箇所を知る



災害から身を
守るための知
識や意識

ハザードマップの確認や
防災まち歩き等で危険
箇所を知りましょう



災害の知識、防災情報、
とるべき行動などについて
確認し、家族で話し合っ
ておきましょう



・大雨警報
・土砂災害警
戒情報が出
たらどうす
る？

災害時

“情報”をフルに活用
安全確保行動！

入手できる“情報”をフルに活用し
て最適な安全確保行動を！
命を守るために最善を尽くす！



〇〇市
大雨警報
土砂災害警戒情報

早めに避難し
てください



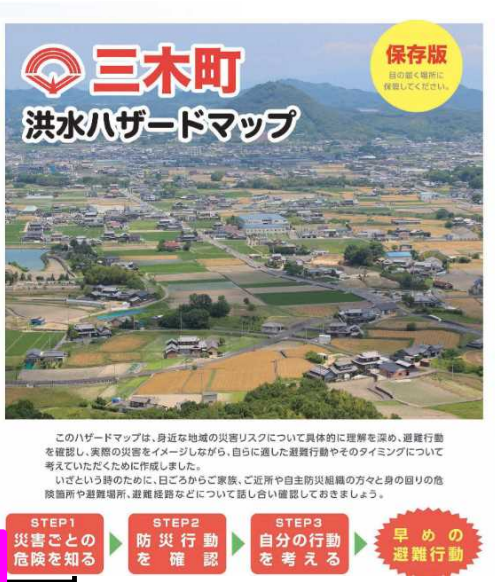
気象災害から身を守るために



STEP3 考える マイ・タイムラインに具体的な行動を書き込みましょう(洪水編)
突然起こる地震とは違い、台風などの風水害は時々刻々と進行する進行型の災害です。安全に避難するためにはどのような順序で防災行動を行うべきかを、高齢者等避難などの行政が発信する情報のタイミングに合わせて考えてみましょう。

記入例を参考に自分の行動(マイ・タイムライン)を考えよう

☐ 気象・防災情報 ☐ 何が起きる ◇台風に関する気象情報(臨時) ◇台風予報 水防待機水位到達 警戒レベル1	☐ 避難行動 ◇大雨警報・洪水警報 避難開始水位到達 警戒レベル2	☐ 避難場所の開設 ☐ 避難指示を発令 ◇避難指示を待機
☐ 避難場所の開設 ☐ 避難指示を発令 ◇避難指示を待機	☐ 避難場所の開設 ☐ 避難指示を発令 ◇避難指示を待機	☐ 避難場所の開設 ☐ 避難指示を発令 ◇避難指示を待機
☐ 避難場所の開設 ☐ 避難指示を発令 ◇避難指示を待機	☐ 避難場所の開設 ☐ 避難指示を発令 ◇避難指示を待機	☐ 避難場所の開設 ☐ 避難指示を発令 ◇避難指示を待機
☐ 避難場所の開設 ☐ 避難指示を発令 ◇避難指示を待機	☐ 避難場所の開設 ☐ 避難指示を発令 ◇避難指示を待機	☐ 避難場所の開設 ☐ 避難指示を発令 ◇避難指示を待機
☐ 避難場所の開設 ☐ 避難指示を発令 ◇避難指示を待機	☐ 避難場所の開設 ☐ 避難指示を発令 ◇避難指示を待機	☐ 避難場所の開設 ☐ 避難指示を発令 ◇避難指示を待機



スマホで気象庁HPにアクセスすると・・・



気象庁

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



スマホで見る 気象庁HPで見るべき情報

天気予報などはテレビでも確認できる。

スマホで見るべき気象庁HPの情報は！

1 雨雲の動きと今後の雨

今ある雨雲を地図上に表示。1時間先までの予想も見れる。

雷や突風、アメダスの雨量（10分値）も見られる。

今後の雨は実際に降った雨、最大15時間先までの予想が見れる。

2 キキクル（危険度分布）

大雨による危険は3つある。土砂災害、浸水害、洪水害。

その危険度を地図上に警戒レベルと同じ色分けで表示。

どこが危ないかが一目でわかる。

3 気象警報・注意報（危険度を色分けした時系列）

テレビで警報が出たことは分かるが、いつまで危ないの？

気象庁HPでは、3時間毎の危険度を色分けして表示。

気象台がいつ危ないと考えているかがよくわかる。

4 その他（台風、熱中症、紫外線、黄砂…）

※地震や津波は、地震・火山で確認を

スマホで気象庁HPにアクセスすると



1 雨雲の動きと今後の雨

左上の「あなたの街の…」をクリック 「防災」のコンテンツ一覧が表示。

⇒ 「雨雲の動き」を選択 雨雲の動き

- ★今ある雨雲を地図上に表示。
- ★地図は拡大縮小が可能。
- ★3時間前から現在までの実況と1時間先までの予測を表示。
- ★動画も可能。
- ★雷や竜巻、雨量なども重ねられる。

⇒ 「今後の雨」を選択

- ★降った雨（解析雨量）を地図上に表示。
- ★地図は拡大縮小が可能。
- ★12時間前から現在までの実況を表示。
- ★15時間先までの降水短時間予報も表示。
- ★3時間積算、24時間積算の降水量も表示できる。
- ★最大降水量を格子毎に数値で表示も可。

スマホで気象庁HPにアクセスすると



2 キキクル

左上の「あなたの街の…」をクリック 「防災」のコンテンツ一覧が表示。
あるいは、今注目の防災情報から

⇒ 「キキクル（危険度分布）」を選択

- ★最新の「雨雲の動き」と浸水、土砂、洪水の「キキクル」表示。
- ★右下の「詳しく見る」を押すと、個別のキキクルを表示。
- ★6時間前からのデータも表示。動画も可能。
- ★地名の有り無しや、地図の選択も可能。

キキクルの色は警戒レベルに合わせています。

スマホで気象庁HPにアクセスすると

3 気象警報・注意報

左上の「あなたの街の…」をクリック 「防災」のコンテンツ一覧が表示。

⇒ 「気象警報・注意報」を選択 ⇒香川県の地図が出るので市町村をクリック（例：高松市）

⇒ その時点の警報、注意報の「注意警戒事項」、「発表状況」、「今後の推移」が表示

★今後の推移で、雨や風は3時間毎の予想値や警戒レベルに合わせた色分け表示がされています。



全国 香川県

高松市の警報・注意報

香川県の警報・注意報（注意警戒事項）

2023年04月27日04時03分 高松地方気象台 発表

注意警戒事項	香川県では、28日まで空気の乾燥した状態が続くため、火の取り扱いに注意してください。
--------	--

高松市の警報・注意報（発表状況）

2023年04月27日04時03分発表

高松市	警報・注意報・警報の切り替え
警報・注意報(発表)	乾燥注意報

大雨特別警報
特別警報(大雨以外)・高潮警報・土砂災害警戒情報
警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)
注意報(高潮以外)・高潮注意報(*2)
解除
大雨特別警報に切り替える可能性が高い
特別警報(大雨以外)・高潮警報に切り替える可能性が高い
警報(高潮以外)に切り替える可能性が高い
*1 高潮警報に切り替える可能性が高い
*2 上記以外の高潮注意報

高松市の警報・注意報（今後の推移）

2023年04月27日04時03分発表

高松市	27日
乾燥	60/35

大雨特別警報
特別警報(大雨以外)・高潮警報・土砂災害警戒情報
警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)

スマホで気象庁HPにアクセスすると



4 その他 (台風、熱中症、紫外線、黄砂...)

台風情報

⇒ 防災 > 台風情報

熱中症警戒アラート

⇒ 防災 > 熱中症警戒アラート

紫外線情報

⇒ 天気 > 紫外線

黄砂情報

⇒ 天気 > 黄砂

アメダス

⇒ 気象観測 > アメダス



気象災害から身を守るために

「まだ大丈夫」「自分は大丈夫」「これまでも大丈夫だった」など自分に都合よく考える傾向を「**正常化の偏見**」といいます。**自然を甘く見ることなく、最悪の事態を想定した行動をお願いします。**

プロアクティブの原則（積極的対応）

1. 疑わしいときは行動せよ

2. 最悪事態を想定して行動せよ

正常化の偏見に陥って、希望的観測をしてはいけない

3. 空ぶりは許されるが見逃しはゆるさない

空振り覚悟で積極的に対応すべき

結果的に、空振りに終わっても…

ああ、たいしたことなくてよかった！



熱中症警戒アラート

熱中症 警戒アラート

発表時の予防行動

熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日夕方または当日早朝に都道府県ごと⁽¹⁾に発表されます。
発表されている日には、外出を控える、エアコンを使用する等の、熱中症の予防行動を積極的にとりましょう。

※北海道、鹿児島、沖縄は府県予報区単位

外出はできるだけ控え、暑さを避けましょう

- 熱中症を予防するためには、暑さを避けることが最も重要です。
- 昼夜を問わず、エアコン等を使用して部屋の温度を調整しましょう。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。

熱中症のリスクが高い方に声かけをしましょう

- 高齢者、子ども、持病のある方、肥満の方、障害者等は熱中症になりやすい方々です。これらの熱中症のリスクが高い方には、身近な方から、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分補給等を行うよう、声をかけましょう。



より詳しい情報は…

環境省： <https://www.wbgt.env.go.jp/>

気象庁： <https://www.jma.go.jp/jma/ai-shou/known/kurashi/netou.html>

環境省 熱中症 検索



熱中症警戒アラート 発表時の予防行動



普段以上に「熱中症予防行動」を実践しましょう

- のどが渇く前にこまめに水分補給しましょう。
(1日あたり1.2Lが目安)
- 涼しい服装にしましょう。



- 屋外で人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合は適宜マスクをはずしましょう。



外での運動は、原則、中止／延期をしましょう

- 身の回りの暑さ指数(WBGT)に応じて、屋外やエアコン等が設置されていない屋内での運動は、原則、中止や延期をしましょう。



暑さ指数(WBGT)を確認しましょう

- 身の回りの暑さ指数(WBGT)を行動の目安にしましょう。
- 暑さ指数は時間帯や場所によって大きく異なるため、身の回りの暑さ指数を環境省熱中症予防情報サイトや各現場で測定して確認しましょう。

※環境省熱中症予防情報サイト：<https://www.wbgt.env.go.jp/>



熱中症とは

熱中症とは、暑い環境で体温の調整ができなくなった状態で、めまいや吐き気、頭痛、失神等様々な症状をきたし、最悪の場合は死に至る疾患です。誰でもなる可能性があり、運動中だけでなく、室内でも起こります。日頃からしっかりと予防するようにしましょう。

暑さ指数(WBGT)とは

暑さ指数(WBGT)とは、気温、湿度、放射熱(日差し等)からなる熱中症の危険性を示す指標で、「危険」「嚴重警戒」「警戒」「注意」「ほぼ安全」の5段階があります。段階ごとに熱中症を予防するための生活や運動の目安が示されていますので、日常生活の参考にしましょう。

「熱中症警戒アラート」は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます。

友達追加はこちら➡



(参考) 雨の強さと降り方

(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る			道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる				

(注1) 大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

(参考) 風の強さと吹き方

(平成29年9月一部改正)

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて 立ってられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始 める。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	30
	25以上 30未満	～110km					固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	～140km					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km～						60

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なる場合があります。
2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/yougo_hp/kazehyo.html